

平成25年度
**嘉川の
協働の地域づくり**

協議会長 佐光 邦靖

平素から、各地区やいろいろの場で、嘉川の地域づくりに：多大なご支援をいただき心からお礼を申し上げます。一年を振り返ってみますと、

① 自主防災の立ち上げについては、各地区で鋭意ご検討をいただいております。同時に防災研修面では、先進地視察、二日間にわたったの図上訓練を実施。(2頁に詳細)

② 地域文化の伝承については、24年度の数ヶ所への標柱建てに続いて、今年はその史跡めぐりのロードマップの作製へと進めました。26年度にさらに史跡の説明冊子を作り、一組にして各ご家庭にお届けいたします。



③ 地域創出や産業促進については、小・中学生から高齢者までを動員して、田植え、稲刈りを含めた酒づくり。さらには南部地域との交流の中で地域産品の創出を模索中です。

以上の重点三項目のほか、公共土木事業は大きい予算で要望にそって適正に進めています。さらに、禅定寺山の一年一回の草刈り、高齢者の一日ドック交通安全講習、嘉川地区の美化清掃活動、あいさつ運動のさらなる推進、子育て支援活動と中学生の赤ちゃんふれあい学習、高齢者の健康を願うスポーツ事業、花いっぱい運動の実施等々、5年計画の4年目として数多くの活動を推進することができました。

26年度は5年の最終年としてのまとめの活動を通じ、次の5年計画へと続けてまいります。皆様方のさらなるご支援の程をよろしくお願いいたします。

平成二十五年度
事業実績

建設振興部会 武田 英一郎

○ 市道の道路改良事業は赤坂一号線を含め三路線が採択された。

内訳は、拡幅改良一路線、待避所設置二路線で赤坂一号線は、平成27年度完了、他二路線は26年度に完了

予定です。

○ 法定外公共物等整備事業で採択された内訳は、道路(里道)5件、水路(農業用)3件、の8件を実施した。

○ 県管理河川の今津川は経年により土砂が堆積し、河川の流水を阻害しているため、山口県に要望してきましたが、今年度から事業に着手することになりました。完了は後年となります。

**「向う三軒の
見守り合い」を**

健康福祉部会 久保 實

「いつ、何が起こるかわからない。そんなとき、頼りになるのは、日ごろからのご近所どうしのつながりだ。」

今、お年寄りの一人ぐらしや、お年寄りだけの家庭がどんどんふえようとしている。実効のある防災につながるという点からも、「向う三軒」という隣どうしの見守り合いを強めていきたい。

日ごろから声をかけ合うこと、いきいきサロンや高齢者の小さな集いを大切にしながら、各自治会ごとに、自治会長さんや福祉関係、ボランティアの皆さんがチームを組んで、ぜひ、自治会の皆さんに呼びかけていく場をもつていただくよう、お願いを続けたい。

「備えあれば憂いなし」

自治部会 竹本 憲治郎



地図を使って図上演習

嘉川地域が山口市の地域防災活動促進事業の指定を受けたことから、本年一月、嘉川地域交流センターにおいて、嘉川小学校と興進小学校の二校区に分けて、それぞれ2回シリーズ「地域防災研修会」を開催しました。研修会には各自治会から二名以上が参加し、7グループに分かれて演習を行いました。

第1回目は、各自治会の地域でどのような災害がおきるかを想定し、危険な場所や避難経路・避難場所、要援護者などについてわかりやすい話し合いながら、大きな地図に書き入れる図上演習を行いました。

第2回目は、刻々と近づく台風(災害)時に「どのように対応すればいいのか?」情報の

収集と被害判断、避難行動のとり方などについて時間軸に添って考え、図表にする災害図上訓練(DIG)を行いました。皆さんは、寒い夜間にもかかわらず長時間にわたり、真剣に取り組まれていました。これからの防災は、いざ!その時にどう判断し、決断し動くか、まず自助、そして共助を旨とする地域防災への取組みが大切とされています。

自主防災への取組み

北の江東自治会 福岡 和廣

平成11年9月24日、台風17号により当自治会は昭和17年以来の災害に見舞われる事態になりました。幸い死傷者は出なかつたものの、高潮と豪雨が重なり防潮堤を越えた水で、地区一帯は水の中。床下、床上と浸水し、家財道具等生活必需品に多大な被害をうけました。あれから約7年の時を経て、各行政機関の指導のもと、平成18年4月北の江東自治会に自主防災組織が立ち上がりました。

防災組織を円滑にするため、非常時連絡網を作成し、各役員、委員の任務、要支援者への配慮等を取り決めました。非常時には早急に対応出来るよう地区一体となり、定期的に避難訓練も実施しています。

台風、火災、地震、津波と、災害はいつ起こるか分かりません。

私達は、海拔0メートル地区に居住していることを意識し、自主防災へ、よりいっそうの取り組みをしていかなければと思います。

浄水場を見学して

生活環境部会 田村 展祥

私共の日常生活では、蛇口をひねれば安全できれいな水を飲むことができ、その上掃除や洗濯等色々な用途で使われています。何げなく利用している水道水が、どのようにして作られているか山口市浅田浄水場を約20名の方々と見学しました。嘉川で使用されている浄水は小郡上郷の樫野川で取水されて、直径一メートルの管で浄水場に送付され、混和池・形成池・沈殿池・ろ過池においてごみや不純物を除去し殺菌され、24時間体制で安全・安心な水の管理がなされております。きれいな水を供給して下さる多くの方々に感謝するとともに、私達も川を汚さないよう家庭の排水にも心がけましょう。各々の施設も見学できて有意義な見学会でした。



沈殿池見学

テーマ

ふるさとと嘉川への私の想い

メキシコから見たふるさとと嘉川

水上 地香(メキシコ在住)

私は、嘉川で生まれ育ち、11年前の結婚を機にメキシコへ移り住みました。

メキシコといえば、サボテン、タコス、テキーラなどを思い出される方が多いでしょう。地球の裏側に住むメキシコ人は、パーティーが大好きで、音楽を聴けば踊りだす、とにかく明るくおおらかな人達です。

住み始めた頃は、今までの日本人の価値観が通用せず、戸惑いました。しかし、今では、日本を離れたからこそ見える日本のすばらしさ、また日本にはないメキシコの良さなど、

二つの異なる文化の中で多くのことを発見し、常に自分が日本人であるという意識を持って生活しています。

毎年夏休みの里帰りには、息子2人が3週間、私の母校嘉川小学校に通わせていただき、メキシコの小学校にはない日本語の教育はもちろんです。徒歩で登下校、給食、掃除なども体験しました。昨年は、息子達のクラスでメキシコの文化や学校生活を紹介する時間をいただきました。そして、子ども達からの感想文を読み、小さい頃から違う世界を知ることが、子ども達の将来にとって大切な事だと思いました。他にも、田んぼでオタマジャクシをつかまえ、セミをとり、しゅつぽつぽに言い、サッカーの練習に励み、夏休みにはラジオ体操、上中野の夏祭りなど嘉川の夏を満喫しています。

嘉川に帰ると、緑豊かな自然の美しさとゴミのないきれいな町並み、すれ違う人々の元気なあいさつ、気さくで心温かい嘉川の皆さんに癒されます。

嘉川で暮らしていく一人として

川西中学校一年 原田 知弥(上高根)

僕は、今年14歳になります。嘉川で祖父、父、そして僕も育ちました。小学2年になるとき、



父の仕事の転勤で嘉川を離れることになりました。そのときには、三年後に嘉川に戻ることは決まっていたのですが、戻る前の不安な気持ちは今でもよく覚えています。「友達は僕のことを覚えていてくれるだろうか」「学校ではスムーズに溶け込むことが出来るだろうか。」そんな気持ちがありました。しかし以前からの友達に僕のことを覚えていてくれ、三年間の空白などまるでなかったかのようにすぐに溶け込めました。

僕が思うところ嘉川は、地域の人が親切で温かく、挨拶をすると返事を返してくれ、昔ながらの良さがたくさん残っている所だと思えます。今年、僕は川西地区のボランティアサークル「ぎずな」に参加し活動してきました。一年間やり終えて達成感や喜びを感じました。これからも嘉川で暮らしていく一人として、地域のために役立っていきたいです。

もの 成長を願って

のふれあい

本とのふれあい 読みきかせ

読書クラブ 坊河内 公子

「お早うございます。」で始まる朝の読みきかせ、「今日はどんなお話かな」と手に持つ本に子ども達の目が集まります。

すっかり定着した朝の読みきかせも、最初は年3回、昼休みの絵本の朗読からでした。学校の要望もあって、始業前の15分間になったのは平成16年からです。一年生だけを対象にしていたものが二年生にもとなり、毎週1回が月2回（嘉川小は第1、第3の月曜日、興進小は第1、第3の水曜日）実施で続いています。

本読みだけでなく、紙芝居、影絵、ブラックシアターなどいろんな方法で本の楽しさ、すばらしさを感じてもらうために年度末には「お話し会」も開いています。

「おはなし会」の出し物は、総て会員の手作りで何ヶ月もかけて練習し、上演します。

絵本に親しみながら時代の移り変わり、今に伝わる生活の習わしなどの

お話しをまじえながら日本語の豊かさを味わい、本と仲よしになってほしいと頑張っています。



おはなし会の様子



手作り影絵上演中

「昔の遊び」で ふれあうひととき

深溝西 矢儀 昭人

地域と子どもたちとの絆を深める行事として、毎年興進小学校で行われているふれあい活動があります。



むつかしいナ、あやとり。

今年は、老人会員や地域の高齢者20名と、一年から三年までの児童約80名が、まだテレビもゲーム機もなかったころの昔の遊び、あやとり、お手玉、おはじき、けん玉、こま回し、はねつき、竹馬、かつぼんげた、竹とんぼづくりなどを、グループごとに体験していきながら、じいちゃんばあちゃんの昔の話をまじえて、一緒に楽しみました。

あとで届いた子どもたちからのお礼の手紙を見ても、これらの遊びは大変好評で、瞬時にうち解け合え、とても喜ばれていることがよくわかります。

これからも、地域の子どものみならず、育てるという意味あいから、いろんな遊びの達人に参加していただきながら、活動の輪がさらに広がることを期待しています。

特集 心豊かな子ども

—— 地域と学校と

「いのちの学習・赤ちゃんふれあい体験」 「川西ちびっ子大集合」

嘉川子育て支援連絡組織「みらい」

山村 正子

「みらい」の代表的な活動のひとつ「いのちの学習・川西ちびっ子大集合」は25年度で12年を迎えました。赤ちゃんを迎え加していたちびっ子が、中学2年生で活動に参加。その生徒がパパやママとなつて赤ちゃんを連れて

大集合に参加といった具合に、子育てのリレーは連綿とつながっています。「いのちの学習・赤ちゃんふれあい体験」は、先進的な活動として、このたび山口市福祉活動5ヶ年計画の中で取り上げられ市内全域に広がっており、大変うれしい事と思います。嘉川方式には大きな特徴が6つあります。①川西中学2年生の授業の一環として取り組まれている。

②活動の前に必ず保健師による事前学習を行う科学的に命の誕生を学び、赤ちゃんと接する時の注意点を学習して本番で実体験をする。③家庭科で学んだ手づくりおもちゃのプレゼント④活動終了後、中学生から赤ちゃんの保護者へ感謝の便りを出し、保護者から返信が返ってくる心の往復便⑤毎年地域スタッフが延べ100人以上関わっている⑥活動のま



とめとしてパンフレットを作り、地域みんなで活動を共有するという事です。

ちびっ子達とふれあう事で日頃教師には見せないやさしい笑顔が満ちあふれていると先生達の声。生徒達からお礼にと素敵なコーラスをプレゼントされると保護者もスタッフもジーンと目頭が熱くなります。生徒達には「命の尊さと育ててくれた両親への感謝の気持ち

を」ちびっ子の保護者達には「元気でやさしい中学生に接する事で我が子の将来への夢を」と川西中学校では一回だけの活動に終わるのではなく、命について考えるきっかけとなり、年間を通していろいろな形で命と向き合う学習が進められています。

「川西ちびっ子大集合」は

中学校と地域との両輪

がうまくかみ合つて

いるすばらしいふ

れあいの場です。

これからずっと

続けていけたら…

と願っています。



事前学習



スタッフ打ち合わせ

情報発信

『うちの自治会では』

地区自治会で行われているユニークな活動を紹介します。情報がありましたら、ぜひ交流センターにご連絡ください

花の里づくり

東本郷自治会 勝屋 健治

東本郷集落は、嘉川小学校より山側へ3キロメートルばかり入ったところにあり、典型的な中山間地域です。本郷川沿いに民家が点在し、10世帯、20人ほどが暮らす小さな集落です。

減反政策や経済成長に伴い、農地の遊休化や山林の荒廃が進み、昭和30年代の美しい里山の景観は大きく変わってきました。

本格的に「花の里づくり」活動が始まったのは、平成16年ごろからで、目指すテーマは、「彩りのある本郷の里を創る。」となっています。

集落内にある大歳神社の境内地に植えられていた桜は老木化したため、周辺の雑木林とともに整理し、新たに植栽しました。樹種は、サクラやモミジを中心にツツジ、カエデなど花や紅葉が楽しめる木々を毎年100本程度植えてきました。苗木の調達は、購入もありますが、主として市の緑化樹の配布事業を活用してきました。植栽後の草刈り等の育成管理作業は、自治会や有志が行っています。

最初に植えたものは、すでに10年近く経っており、四季折々の花や紅葉が楽しめるようになりました。今後、東本郷が嘉川地区の住民の癒しのエリアとなればと思っています。



大歳神社の前で



運動会のフィナーレは嘉川音頭



楽しんでいます

福岡親睦会

福岡自治会 安元 重実

福岡親睦会は、約35年前に福岡自治会の有志によって作られた会です。祭りの太鼓を作る活動から始まったと聞いています。会員は、現在43名です。

福岡親睦会の1年は、元旦の新年互礼会から始まります。新年の挨拶の後、消防ポンプのエンジンを開始し放水確認をします。いざという時の初期消火の訓練です。4月初めには自治会内の天神様境内で花見をします。一昨年は、地区の皆さんにも集まって頂き、桜の苗木の植樹も行いました。

5月の川掃除、6月に総会を行い、毎年8月13日には自治会と協賛で盆踊りを行います。本格的なやぐらの下で長州音頭などに合わせ盆踊りを行います。また、スポンサーの協力による打ち上げ花火、ゲームや福引などの出し物もあり、里帰りのお孫さんを連れて参加される方も多くいらっしゃいます。もう一つのイベントは、10月末の大運動会です。「忍法みずすまし」「キャタピラー福岡」などの名

嘉川遺跡・史跡マップ作成中

社会部会 田中 博

私たちが住む郷土の歴史を学び、故郷を再発見しようと平成22年度から各地区の方や子ども達の協力を得て遺跡・史跡の位置に標識を建ててきました。

標柱立ては24年度に修了し、今年度は気軽に遺跡・史跡巡りができるように、標柱の場所を記したマップを作りました。

ルートマップとポイントマップで構成して、嘉川小学校域を巡る東ルート、興進小学校域の西ルート、外に所要時間が1時間から半日で回れる、おすすめショートコースも7か所設け、年齢にかかわらず、家族やグループで気軽に楽しめる手助けを心がけました。

なお遺跡・史跡の詳細な解説書(小冊子)は26年度に編集し合わせて配布予定です。

編集後記

嘉川地区全体での子育て支援を調べて、いかに多くの団体・組織が子ども達とふれあい健全育成に努めておられるか改めて知ることができました。今回は3つの活動紹介のみとなりましたが、機会を作って是非他の活動もご紹介したいと思っています。